

播磨中学校

「明朗・自治・創造」

本年度の主な取り組みと成果

- 学習指導の充実 「授業で勝負」を合い言葉に、一時間一時間真剣に取り組めました。地域や保護者・高校の先生に授業を公開する一方、教師間でも常に授業をオープンにしました。結果として、教師の授業力アップと生徒の意欲向上につながりました。
- 道徳教育の充実 教育活動全体を通して、人権意識の高揚を図りました。あいさつ運動を展開する一方、便器磨きや清掃活動、サツマイモづくりでのボランティア活動に力を注ぎました。
- 特別支援教育への取り組み 校内委員会を開く傍ら、東はりま特別支援学校との連携を図りました。個別支援の方策を検討して、実践に移しました。本年度から始めた通級指導のあり方についても検討を重ね、成果を上げつつあります。
- 生徒指導 薬物乱用防止、デートDV、情報モラル教育、性教育の講演会を行い、生徒の意識が高まりました。
- 不登校対策 家庭訪問や個別相談を繰り返し、個に応じた対策を講じたうえで、それに見合う体制をとりました。
- 地域や家庭からの支援 PTAや地域の皆さまの協力を得て、パトロール、あいさつ運動、トライやる・ウィーク、バザー、アルミ缶回収などを行いました。
- 学校教育の啓発 ホームページの充実を図り、情報発信の手立てとしました。



様々な教育活動をリンクしながら、機能的に押し進める組織づくりが必要です。「元気で明るい学校づくり」を目指し、今以上に生徒一人ひとりと向き合う時間を大切にしていきたいと思えます。

蓮池小学校

チャレンジ・チェンジ・チェイス
―挑戦・変革・追求―

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

- 確かな学びを支えるために
 - ・授業研究や教材研究、次年度を見越した教科書研究などを通して、教師力の向上に努めました
 - ・「日本語検定週間」を設けて日本語力を磨き、140人以上が日本語検定試験に挑みました
 - 生涯を支える健康づくりのために
 - ・医師会、警察、厚生労働省の協力を得て、発達段階に応じて計画的に禁煙及び薬物乱用防止教育を実施しました
 - 豊かな心を育むために
 - ・県立考古博物館や「ゆめづくり塾」などの協力を得て環境教育を実施すると共に福祉体験活動を実施しました
- 自己実現を目指すために
 - ・様々な職種の人との協力を得て、「職業人と語ろう」を実施し、将来について考える機会を設けました
 - 学校・家庭・地域の連携を強めるために
 - ・子どもの教育環境整備のため、「灯足るの会」や「なでこの会」のみならず、教壇作りやバザー、整地など、多くの保護者や地域の人たちの協力による学校づくりを推進してきました
 - ・「ほめて育てる蓮池っ子」事業では、地域の方々から子ども一人ひとりのよいところを見つけていただき表彰を受けました



蓮池小学校は、子どもたちの豊かな人間力育成のために、挑戦、変革、追求を続けます。
http://www.hasuikie.harimakyokujp

播磨南中学校

何事も本気で 優しさを友達に

昨年度の課題より、それぞれの教育活動が十分に関連をもって機能するように、常に「ねらい」を意識して指導にあたること。また、学級に、校庭に、さわやかな、いきいきとした生徒の姿がいつも見られるように生徒との距離をしっかりと保ちつつ教育実践に努めることを念頭においてまいりました。

- 道徳教育の推進 「命を大切に」よりよく生きようとする生徒の育成
 - ・温かく支える教育活動の充実を目指して・・・
 - ・それぞれの生徒のもつ良さを大切に、その良さが生かされるよう生徒理解と共に学級経営に力点を置き進めてきました。
- 自己理解を深めさせ、自分とのかかわりの中で道徳実践力が育むことができるよう支援してまいります。
- 特別支援教育(教科により複数教員で)
 - ・学習障害やつまずきのある生徒への理解と学習指導の工夫・個の能力に応じた指導と支援のあり方などについて、研究を進めてきました。学習に取り組む姿勢や意欲づくりの支援としては、評価できるものであったと思います。



○「南中意識改革」自ら進んで・可能性は無限大
生徒会役員の意識は高く、常に意欲的に活動を進めています。彼らの意欲や行動力は、よりよい集団を目指す生徒全員の目覚まし(意識改革)となりました。

播磨西小学校

夢かがやき 共に学びを切り拓く
心豊かな西っ子の育成

成果と課題について

- ことばの力を 自分の夢をいつか実現できる子どもたちに。そのため「学びの充実」を重点目標としてきた本年度、様々な取り組みを本校では新たに行ってきました。その中でも「ことば」の学習には力を注いできたところです。
- ・朝の学習タイムでの音読・読書・読み聞かせなど
- ・オープンスクール・児童朝会での全校音読会
- ・「ことば」の力を磨くための全校での教員の研究授業、そして何より日々の取り組み
- ・金曜日6校時の「アップタイム」による漢字学習の充実
- 「ことば」の力をつけていくことは、国語だけでなく、全教科における学力向上に結びつくとともに、「コミュニケーション能力を高め、子どもたちの心を豊かにする取り組みです。
- 本年度から始めたこの取り組みは子どもたちの随所に伸びとして見られるようになり、私たち自身子どもたちの力に驚かされたところです。
- 理数教育の充実 この他本年度、本校では兵庫型教科担任制を利用し、算数科並びに理科での少人数指導・同室複数指導を実施しました。理科では「おもしろ理科推進教員」を加え、充実した、きめ細かな授業ができたのではないかと考えます。
- 継続は力なり 私たちは今、かつて無い便利な情報化社会の中に生きています。それは人と話さなくても接しなくても生活自体に困ることはない社会に生きていくとも言えます。だから「ことば」の学習が必要なのだと思えます。今後とも保護者や地域の皆さまとの協力を得ながら推進していく所存です。



播磨小学校

夢を持ち共に未来を拓く
心豊かな播磨っ子の育成

本年度の主な取り組み

- 活用力を育てる授業づくり
 - ・昨年度まで、算数科における「学びの高まり」の研究を推進してきました。本年度より、今までの研究成果を受けて「活用力を育てる授業づくり」をテーマとした研修に入りました。教科は算数科に限定するのではなく、全ての教科の授業を研究対象範囲として授業実践を積み重ね、活用力を育てることで次のような子どもに育てようとしてきました。
- ①これまで学んできたことをしっかりと活かそうとする子
- ②自分の考えを進んで表現できる子
- ③友達と考えを深めたり広げたりする子
- 様々な体験学習の充実
 - 1年 交通安全教室 アサガオなどの栽培
 - 2年 町探検 サツマイモなどの栽培
 - 3年 干したこ作り かみかみ教室
 - 4年 みそ作り リサイクル教室
 - 5年 赤米作り 自然学校
 - 6年 歴史探訪 命の教室
- 播磨っ子グループによる遊び活動の継続 全校生による縦割り班を編成し、子どもたちの遊び活動を通して、より豊かな人間関係づくりに努めてきました。
- 学校行事の充実 精選されてきた学校行事が、より価値の高いもの、意義深いものとなるよう、当日を迎えるまでの練習過程を大切にしたり取り組みを工夫してきました。
- 基本的な生活習慣の定着 「にこにこ」笑顔であいさつ。「はきはき」返事と自分の思いを表現。「どんどん」自分の方から積極的にしんどいことにも諦めないで、播磨っ子みんなが輝いていました。



播磨南小学校

わくわく登校・いきいき学び・にこにこ下校

どうぞ南小へ気楽に足をお運びください。見に来てください。そして、子どもと接して話してください。子どもってかわいいですよ。元気が出ますよ。

- 南小って、どんな学校? 「わくわく登校・いきいき学び・にこにこ下校」が、南小のモットーです。「やりぬく心」を持って、何事にもチャレンジする子どもに育ってほしい、このことが願いです。
- 授業では、子ども一人ひとりが意欲を持って、分かれる・できる・楽しい授業づくりに努力しています。遊びや体育での体づくり運動では、運動習慣が身に付くよう、コオディネーショントレーニング(教育委員会生涯学習グループ・スポーツクラブ21はりまの協力)や縄跳びを積極的に取り入れています。
- また、楽しい食事や給食活動を通して、食事の大切さや望ましい食生活習慣が身に付くよう、役場・すこやか環境グループなどと連携し、家庭科の授業充実に努めています。
- ホッと、できるのはなぜ?
 - ・登下校時、地域・PTA・教職員一体となって、それぞれが校門周辺や通学路で、子どもを見守り、あいさつや声かけをしながら気軽に接していることです。しかし、課題もあります。
 - ・気持ちの良い素敵なあいさつや正しい歩行ができる子どもを増やしていくことです。
- 今後とも、南小の力になってください
 - ・日頃の「ご理解」協力を感謝しています。
 - 「アイ・ラブ・南っ子」
 - 「前進!南小」笑顔・やる気・元氣



「前進!南小」笑顔・やる気・元氣

一生懸命走った！おいしく食べた！ ～校内マラソン大会～



▲優勝めざして一斉にスタート(^_^)v

播磨南中学校

校内音楽会



▲動物園に行こう(1,2年生)

播磨西小学校

秋を感じて



▲紅葉について教えてもらいました

播磨南小学校

朝からパラパラと小雨が降っていましたが、天候も回復し、校内マラソン大会が実施されました。毎年恒例のPTAによる「うどんの炊き出し」も行われ、沿道には大勢の保護者も応援に駆けつけ、例年以上に盛り上がったマラソン大会となりました。男子は約5キロメートル、女子は約3キロメートルのコースを精一杯に走り切りました。その後には食べたうどんは、ふだん家で食べるうどんとは違って、食べている最中にも笑顔があふれていたのが印象的でした。これからますます寒くなる季節、風邪なんかには負けないような体づくりを心がけてほしいと思います。お父さん、お母さん、温かくておいしいうどんをありがとうございました。



つきたてのおもちはおいしかったよ！



▲やわらかくて、あったかいよ！

播磨幼稚園

げ・ん・きにゴシゴシ！



▲みんなで乾布摩擦

蓮池幼稚園

おもちつき たのしかったよ！



▲おもちになってきたよ

播磨西幼稚園

今日は待ちに待った「お餅つき」の日。子どもたちは楽しみにしながら登園してきました。地域のシニアクラブの方やお父さんお母さんなど、たくさんの方がお手伝いに来てくださいました。
薪を燃やし、せいろでもち米がふっくら蒸しあがったら、おじいちゃんとお父さんの出番です。子どもたちは「よいしょ！よいしょ！」と声を掛けながら、もち米がお餅になるのを驚きながら見ていました。年長児は自分たちで杵を持ってお餅つきに挑戦！重たい杵をおじいちゃんやお父さんに支えてもらいながら、力いっぱい杵を振り下ろしました。次はおばあちゃんやお母さんと一緒に付きたてのお餅を丸めていきます。子どもたちは「ほっぺたみたいに柔らかいね」とお餅の感触を楽しんでいました。出来上がったお餅はきな粉餅にして、みんなでいただきました。

幼稚園のみんなは寒さに負けず、朝の体操やマラソン、体の温まるぼかばか遊びを風邪やインフルエンザから守る強い体をつくるために毎日元気にしています。外の活動の後には、手洗いうがいをして年中、年長組は乾布摩擦です。裸になって用意ができるとはじめはみんなでおでこやほっぺをゴシゴシ。次は手、おなか…と心臓の方に向かって「ゴシゴシ」。「体が熱くなってきた」「温まってきた」と話す子どもたち。上半身が終わると大きく息を吸って、吐きながら前屈の「吸ってハー」です。体がペタンと床に付いてしまいう子どももいます。子どもたちが特に好きなのが足の指を引っ張る「クチュクチュスッポン」です。「スッポンをして指が飛んでいったくない？」と先生が聞くと「大丈夫！ちゃんと本あるよ」と楽しみながらしている子どもたちです。

楽しみにしていたもちつきの日。今年は新園舎改築を記念して、紅白もちをつきました。シニアクラブの方やお手伝いのお母さん、お父さんに来ていただき、子どもたちは「いつできるのかなあ」「あー！煙や！」と朝からウキウキしています。薪のいい匂いが立ちこめる中、「よいしょ！よいしょ！」と杵の動きに合わせて元気なかけ声。年長児は杵を持ってつかせてもらい、「杵って重いなあ」「つぶつぶがなくなってきた」と、おもちができる様子を近くで見ることができました。シニアクラブの方に教えてもらいながら、どの学年も自分でおもちを丸めました。
きな粉もちや雑煮をいただき、おなかいっぱい。たくさんのおもちをおみやげにもって帰りました。

